

安心して孤独でいられる暮らしかた

コレクティブリビング

もしも、ずっと結婚しなかったら？ 離婚して一人になったら？ 老後を一人で暮らすとしたら？ 誰かと部屋をシェアして暮らしたいけれど？ そんなことを考えるとき、注目したいのが、コレクティブリビング。シングルファミリーが3分の2を占める、コレクティブハウス「かんかん森」の新しい暮らし方を紹介しよう



Photos: BONKO

長屋でもなく、付加価値つきマンションでもない

コレクティブリビングとは、プライベート空間を確保した上で、共用空間や設備を充実させ、核家族の日常的な家事を居住者が分担して受け持つことで、個々人の自由な時間を生み出そうという暮らし。日本で初めて、多世代が入居する賃貸のコレクティブハウスの「かんかん森」の生活が今年6月から東京荒川区、日暮里で始まった。

「こんな暮らしをしたいという人は、全人口の1〜2%ぐらいじゃないかしら」と言うのは、「かんかん森」コーディネーターであるコレクティブハウジング社事務局長の宮前眞理子さん。3歳〜78歳のさまざまな家族がここに住む。その3分の2が年代を問わずのシングルファミリーだが、新婚さんや子育て期にある夫婦、介護が必要

要な母親と働く娘の母子家庭、ルームシェアをしている60代の女性と大学生など、住人の家族も多世代で多様だ。10月現在、28戸のうち18戸に27人が暮らしている。ここで始まっているのは、あくまでプライベートを守った上での、共同生活だ。バス・トイレ・キッチン付の個別の住居とは別に、各戸が住戸面積の13%を出し合って、共用スペース(166㎡)を確保した。プロ仕様の厨房、床暖房付の広いリビング、木工のできる工作テラス、菜園テラス、家事スペースなどがある。個人でアパートを借りたら到底望めない豊かな空間である。また、住人が最低限の家事をシェアすることで、個々人の家事時間が短縮される仕組みをつくっている。週3回の夕食、約20〜30名分を担当制で準備



する。当番は4週間に1回程度回ってくるが、それをこなせば、週3回の夕食(コモンミール)が食べられる。後は、月1回程度、掃除、鍵締めの任務があるだけ。夕食は食べる時は予約するが一緒に食べなくてもよく、帰宅が遅い人のためには、取り置きもでき、自室で食べることもできる。この仕組みによって、個人がこれまで家事に費やしていた時間を節約、これに自分の趣味や生活に使えることになる。

プライベートを守った上での共同だから、長屋暮らしではない。食事などのサービスを専門家に任



近隣の環田彦神社(通称かんかん森)から「かんかん森」(神々森)と名づけられたコレクティブハウスは、「日暮里コミュニティ」の2〜3階にある。

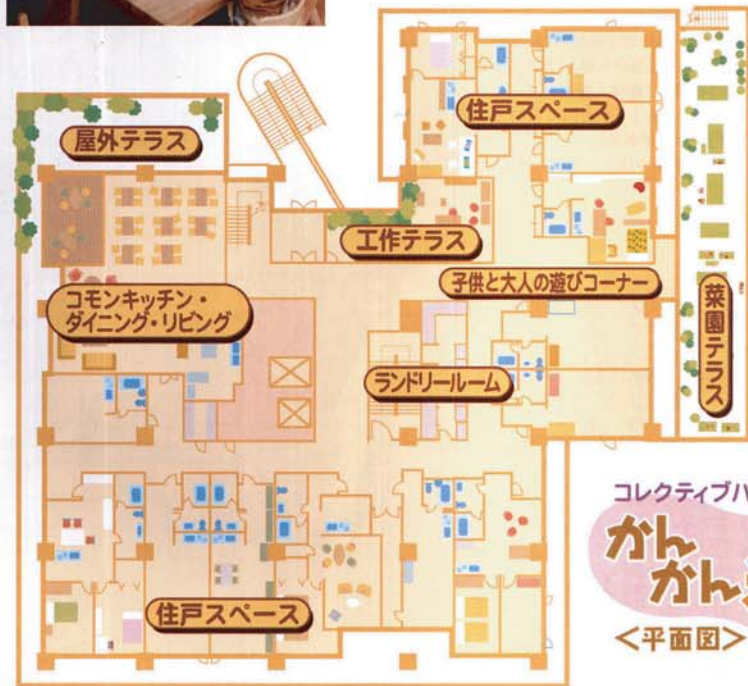


せるのではなく、居住者で分担するのだから、付加価値付マンションでもない。お互いが気持ちよく暮らすために、ルールでしぼらない。しかし、最低限の家事分担はする。共同の家事作業が苦にならない秘訣は、「大人30〜40人程度でローテーションが組めること」と宮前さんは言う。

椅子は一人に、一つ要る

リビングルームには、住人の人数分の椅子がある。宮前さんは「コレクティブリビングで血縁は重要ではない。夫婦であっても、椅子は一人に一つ要る」と言う。

コレクティブリビングを暮らし方の一つの選択肢だと見れば、子育て世代には魅力的な暮らし方のようにだ。子育て中の木下孝二さんは、「子供を保育園から連れて帰っても、夕ごはんはコモンミールがあるから、当番の人に任せておいて、自分は子供といっしょに遊ぶ。子供もすぐにご近所に遊びに行ってしまう。ここにいると、子育ては核家族でするものじゃないと思う」。住人の寺田めぐみさんは入居の際して、友人から「めぐみちゃんらしいわね」と言われる一方で、「新婚なのに、なぜここに入るの?」という疑問や「疲れているときは一人で行きたい。私にはそんな生活は無理ね」という反応があったとも言っている。今、めぐみさんは、「ここに



コレクティブハウス

かんかん森
かんかん木

<平面図>

るから、逆に二人の関係も新鮮」と話す。仕事や人間関係に疲れて、家に帰ってからは一人でいたいというOLやサラリーマンには、家事作業の分担というイメージが、わずらわしさやしぼりのイメージと重なるのかもしれない。現在、居住者に、30〜40代の独身男性が少ないのが特徴的である。

コレクティブハウス「かんかん森」の暮らしを一言で言えば、「孤立して不安でない、安心して孤独でいられる暮らし」だろう。普通のマンションではお隣の顔も知らな

いが、ここでは、お隣の人との距離感を選べる。もちろん、全員が仲良しというわけではない。隣人との距離はとりたいが、時々交流も楽しめるという、いいところ取りの暮らしのように見える。

ライフスタイルが変わるとき、家族関係も変わらざるを得ない。シングルであってもなくても、コレクティブリビングは暮らし方の一つの選択肢となり得るだろう。そして、あなたがシングルなら、ちょっと気になる暮らし方ではないだろうか。

（編集部）



1970年代に北欧を中心に始まったコレクティブハウスの運動は、現在スウェーデン、デンマーク、アメリカなどに根づいている。コレクティブハウジング社事務局の狩野三枝さんは、日本における今後の展開として、「スウェーデン

での例でもあるように、新築だけでなく、既存の公団住宅や会社の寮などをリフォームして展開できないか、その可能性を探っている」と言う。



「かんかん森」構想の実現には2001年1月から入居まで2年半かかっている。全28戸。各住戸は、約25㎡〜63㎡。家賃は7万1千円〜17万4千円。10月現在6室入居募集中。

ストックホルム近郊にあるフェルドクネッペンのコレクティブハウス（1993年入居。賃貸43戸）
写真提供：NPOコレクティブハウジング社